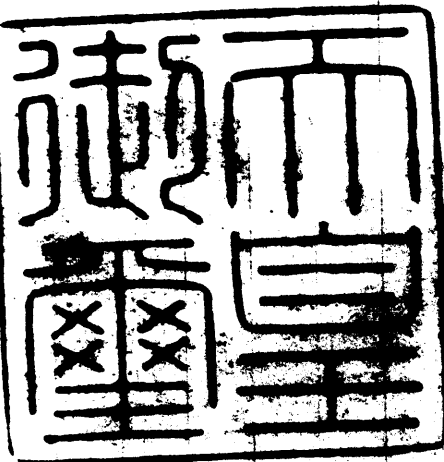


勅令第四百四十八號

總文

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ小學校令改正ノ
件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

裕仁



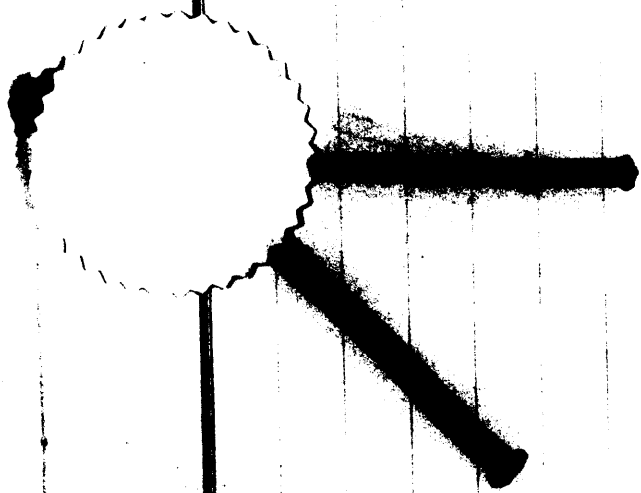
昭和十六年二月二十八日

日

月

内閣總理大臣公爵
文部大臣

近衛文彦
橋田邦彦



勅令第四百十八號

國民學校令

第一章 目的

第一條 國民學校ハ、（一） 國ノ道ニ關シテ初等普通教育ヲ施シ國民ノ基礎的鍊成ヲ爲スヲ以テ目的トス

第二章 課程及編制

第二條 國民學校ニ初等科及高等科ヲ置ク但シ土地ノ情況ニ依リ初等科又ハ高等科ノイマ置クコトヲ得

第三條 初等科ノ修業年限ハ六年トシ高等科ノ修業年限ハ二年トス

第四條 國民學校ノ教科ハ初等科及高等科ヲ通シ國民科、理科、
地理科、
歴史科、
算術科、
音楽科、
図画科、
体育科、
家庭科、
衛生科、
職業科、
その他ノ教科ヲ置クコトヲ得

國民學校令
第二章 課程

體操科及藝術科トシ高等科ニ在リテハ實業科ヲ加フ

國民科ハ之ヲ分チテ修身、國語、國史及地理ノ科目トス

理科ハ之ヲ分チテ算數及理科ノ科目トス

體操科ハ之ヲ分チテ體操及武道ノ科目トス但シ女兒ニ付テハ武

道ヲ缺クコトヲ稱

藝術科ハ之ヲ分チテ音樂、習字、圖畫及工作ノ科目トシ初等科

ノ女兒ニ付テハ裁縫ノ科目ヲ、高等科ノ女兒ニ付テハ家事及裁

縫ノ科目ヲ加フ

實業科ハ之ヲ分チテ農業、工業、商業又ハ水産ノ科目トス

前五項ニ掲グル科目ノ外高等科ニ於テハ外國語其ノ他必要ナル

科目ヲ設クルコトヲ稱

第五條 國民學校ニハ高等科ヲ修了シタル者ノ爲ニ特修科ヲ置ク

コトヲ稱其ノ修業年限ハ一年トス

特修科ヲ設置シ又ハ廢止セントスルトキハ市町村、市町村學校

組合又ハ町村學校組合ニ於テ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

特修科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第六條 國民學校ノ教科用圖書ハ文部省ニ於テ著作權ヲ有スルモ

ノタルベシ但シ郷土ニ關スル圖書、歌詞、樂譜等ニ關シ文部大

臣ニ於テ別段ノ規定ヲ設ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 國民學校ノ教則及編制ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第三章 就學

第八條 保護者（兒童ニ對シ組織ヲ行フ者、規備ヲ行フ者ナキト

キハ後見人又ハ後見人ノ職務ヲ行フ者ヲ謂フ以下同ジハ兒童ノ滿六歳ニ達シタル日ノ翌日以後ニ於ケル最初ノ學年ノ始ヨリ滿十四歳ニ達シタル日ノ屬スル學年ノ終迄之ヲ國民學校ニ就學セシムルノ義務ヲ負フ

第九條 前條ノ規定ニ依リ就學セシメラルベキ兒童ハ學齡兒童ト稱ス以下同ジノ瘋癲白痴又ハ不具癱疾ノ屬之ヲ就學セシムルコト能ハズト認ムルトキハ市町村長ハ地方長官ノ認可ヲ受ケ前條ニ規定スル保護者ノ義務ヲ免除スルコトヲ得

學齡兒童ノ病弱又ハ發育不完全其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ就學時期ニ於テ之ヲ就學セシムルコト能ハズト認ムルトキハ市町村長ハ其ノ就學ヲ猶豫スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ直ニ其

ノ旨地方長官ニ報告スベシ

第十條 第二十八條ノ規定ニ依リ國民學校設置ノ義務ヲ免セラレタル區域内ノ學齡兒童ノ保護者ハ第八條ニ規定スル保護者ノ義務ヲ免除セラレタルモノトス

第十一條 學齡兒童國民學校以外ノ學校ニ於テ國民學校ノ課程ト同等以上ト認ムル課程ヲ修ムルトキハ第八條ニ規定スル保護者ノ義務ノ履行ニ關シテハ其ノ期間國民學校ニ就學スルモノト看做ス

前項ノ課程ノ決定ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十二條 學齡兒童ヲ使用スル者ハ其ノ使用ニ依リテ兒童ノ就學ヲ妨グルコトヲ得ズ

第十三條 國民學校長ハ傳染病ニ罹リ若ハ其ノ虞アル兒童又ハ性行不良ニシテ他ノ兒童ノ教育ニ妨アリト認ムル兒童ノ國民學校ニ出席スルヲ停止スルコトヲ得

第十四條 兒童ニシテ其ノ年齢就學ノ始期ニ達セザルモノハ之ヲ國民學校ニ入學セシムルコトヲ得ズ

第四章 職員

第十五條 國民學校ニハ學校長及訓導ヲ置クベシ
國民學校ニハ教頭、養護訓導及准訓導ヲ置クコトヲ得

第十六條 學校長及教頭ハ其ノ學校ノ訓導ノ中ヨリ之ヲ補ス
學校長ハ地方長官ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス
教頭ハ學校長ヲ輔佐シ校務ヲ掌ル

第十七條 訓導及養護訓導ハ判任官ノ待遇トス但シ學校長又ハ教頭タル訓導ハ委任官ノ待遇ト爲スコトヲ得
訓導ハ學校長ノ命ヲ承ケ兒童ノ教育ヲ掌ル

養護訓導ハ學校長ノ命ヲ承ケ兒童ノ養護ヲ掌ル
准訓導ハ學校長ノ命ヲ承ケ訓導ノ職務ヲ助ク

第十八條 訓導及准訓導ハ國民學校教員免許狀ヲ有スル者タルベシ
養護訓導ハ女子ニシテ國民學校養護訓導免許狀ヲ有スルモノタルベシ

教員免許狀ハ師範學校ヲ卒業シ又ハ訓導若ハ准訓導ノ檢定ニ合格シタル者ニ地方長官之ヲ授與ス
養護訓導免許狀ハ養護訓導ノ檢定ニ合格シタル者ニ地方長官之

ヲ授與ス

前二項ノ檢定ヲ施行スル爲道府縣ニ國民學校教員檢定委員會ヲ
置ク

國民學校教員檢定委員會ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

教員免許狀及養護訓練免許狀其ノ他檢定ニ關スル規程ハ文部大
臣之ヲ定ム

第十九條 特別ノ事情アルトキハ地方長官ハ國民學校教員免許狀
ヲ有セザル者ヲシテ准訓練ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第二十條 國民學校職員ハ教育上必要アリト認ムルトキハ兒童ニ
懲戒ヲ加フルコトヲ得但シ體罰ヲ加フルコトヲ得ズ

第二十一條 國民學校教員免許狀ヲ有スル者左ノ各號ノ一二號當

スルトキハ教員免許狀ハ其ノ效力ヲ失フ

一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

二 破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ

教員免許狀ヲ有スル者不正ノ行爲其ノ他教員タルベキ體面ヲ汚
辱スルノ行爲アリテ其ノ情狀重シト認ムルトキハ文部大臣又ハ
地方長官ニ於テ其ノ教員免許狀ヲ褫奪ス

前二項ノ規定ハ國民學校養護訓練免許狀ヲ有スル者ニ之ヲ準用
ス

第二十二條 地方長官ニ於テ行ヒタル國民學校教員免許狀又ハ國
民學校養護訓練免許狀ノ褫奪ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不
服アルトキハ文部大臣ニ訴願スルコトヲ得

第二十三條 准調導及第十九條ニ規定ニ依リ准調導ノ職務ヲ行フ者ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第五章 設置

第二十四條 市町村ハ其ノ區域内ノ學齡兒童ヲ就學セシムルニ必要ナル國民學校ヲ設置スベシ

第二十五條 地方長官ハ町村ガ左ノ各號ノ一ニ該當スト認ムルトキハ國民學校設置ノ爲其ノ町村ト他ノ市町村トノ學校組合ヲ設クベシ

- 一 町村ノ實力ガ國民學校ノ經費ノ負擔ニ堪ヘザルトキ
- 二 町村ニ於テ學齡兒童ノ數一國民學校ヲ構成スルニ足ラズ又ハ適度ノ通學距離内ニ於テ一國民學校ヲ構成スルニ足ルベキ數ヲ得ルコト能ハザルトキ

地方長官ハ市町村ノ一部ニシテ前項第二號ノ事情アルモノガ其ノ市町村ノ國民學校ニ對シ適度ノ通學距離内ニ在ラズト認ムルトキ亦前項ノ例ニ依ルベシ

前二項ノ規定ニ依リ地方長官ニ於テ市町村學校組合又ハ町村學校組合ヲ設ケントスルトキハ組合規約ヲ定メ關係市町村ノ意見ヲ聞クベシ組合規約ヲ變更シ組合市町村ノ數ヲ増減シ又ハ組合ヲ解カントスルトキ亦同ジ

第二十六條 地方長官ハ一市町村ガ國民學校ヲ設置スルニ比シ著シク優等ナル國民學校ヲ設置シ得ベシト認ムルトキハ國民學校設置ノ爲市町村學校組合又ハ町村學校組合ヲ設クルコトヲ得前條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條 地方長官ハ町村ニ付第二十五條第一項第二號ノ事情
アリト認ムルトキハ國民學校ノ設置ニ代ヘ其ノ町村ヲシテ學齡
兒童ノ全部又ハ一部ノ教育事務ヲ他ノ市町村、市町村學校組合
又ハ町村學校組合ニ委託セシムルコトヲ得

地方長官ハ市町村、市町村學校組合又ハ町村學校組合ノ一部ニ
シテ第二十五條第一項第二號ノ事情アルモノガ其ノ市町村、市
町村學校組合又ハ町村學校組合ノ國民學校ニ對シ適度ノ通學路
程内ニ在ラズト認ムルトキ亦前項ノ例ニ依ルコトヲ得
前二項ノ規定ニ依リ地方長官ニ於テ兒童教育事務ヲ委託セシメ
又ハ其ノ委託ヲ止メシメントスルトキハ關係市町村、市町村學
校組合及町村學校組合ノ意見ヲ問フベシ

第二十八條 地方長官ハ町村ニ付第二十五條第一項第一號ノ事情
アルモ同項及第三十四條ノ規定ニ依ルコトヲ得ズト認ムルトキ
ハ其ノ町村ヲシテ國民學校設置ノ義務ヲ免レシムルコトヲ得
地方長官ハ町村ニ付第二十五條第一項第二號ノ事情アルモ同項、
第二十七條第一項及第三十四條ノ規定ニ依ルコトヲ得ズト認ム
ルトキハ其ノ町村ヲシテ其ノ全部又ハ一部ニ關シ國民學校設置
ノ義務ヲ免レシムルコトヲ得

地方長官ハ市町村、市町村學校組合又ハ町村學校組合ノ一部ニ
付第二十五條第二項又ハ第二十七條第二項ノ事情アルモ同項及
第三十四條ノ規定ニ依ルコトヲ得ズト認ムルトキハ其ノ市町村
市町村學校組合又ハ町村學校組合ヲシテ其ノ一部ニ關シ國民學

力ガ其ノ學校組合費ノ分擔ニ堪ヘザルトキ

三 町村又ハ町村學校組合ノ實力ガ兒童教育事務委託ニ關スル
經費ノ負擔ニ堪ヘザルトキ

地方長官前項ノ規定ニ依ル報定ヲ爲サントスルトキハ北海道
事會又ハ府縣事會ノ意見ヲ問クベシ

第三十五條 訓練、養護訓練及准訓練ノ檢定並ニ國民學校教員免
許狀及國民學校養護訓練免許狀ニ關スル經費ハ北海道地方費又
ハ府縣ノ負擔トス

第三十六條 國民學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スルコトヲ得ズ但シ
特種科ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

特別ノ事情アルトキハ地方長官ノ認可ヲ受ケ國民學校ニ於テ授

業料ヲ徵收スルコトヲ得

授業料ハ市町村、市町村學校組合又ハ町村學校組合ノ收入トス
授業料ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第八章 管理及監督

第三十七條 市町村長、市町村學校組合管理者又ハ町村學校組合
管理者ハ市町村、市町村學校組合又ハ町村學校組合ニ屬スル國
ノ國民學校ニ關スル教育事務ヲ管掌シ國民學校ヲ管理ス

第三十八條 市町村、市町村學校組合及町村學校組合ハ國民學校
ニ關スル教育事務ノ爲市制第八十二條若ハ町村制第六十九條ノ
規定又ハ其ノ準用規定ニ依リ學務委員ヲ置クベシ此ノ場合ニ於
テハ市町村會、市町村學校組合會又ハ町村學校組合會ノ議決ニ

依ルコトヲ要セズ

學務委員ニハ國民學校職員ヲ加フベシ

委員中國民學校職員ヨリ出ヅル者ハ市町村長、市町村學校組合
管理者又ハ町村學校組合管理者之ヲ任ズ

第三十九條 學務委員ノ職務其ノ他ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ
定ム

第四十條 國民學校職員ノ執行スル國ノ國民學校ニ關スル教育事
務ハ總督長官之ヲ監督ス

第九章 雜則

第四十一條 町村組合ニシテ其ノ町村ノ事務ノ全部又ハ役場事務
ヲ共同處理スルモノハ之ヲ一町村、其ノ組合吏員ハ之ヲ町村吏

員、其ノ組合會ハ之ヲ町村會ト看做ス

第四十二條 町村制ヲ施行セザル地域ニ於テハ本令中町村、町村
組合、町村吏員、町村組合吏員、町村會及町村組合會ニ關スル
規定ハ其ノ地域ニ於ケル此等ニ準ズベキモノニ之ヲ適用ス

第三十八條第一項中町村制第六十九條トアルハ前項ノ地域ニ於
テハ北海道一級町村制第一條又ハ北海道二級町村制第七十二條
トス

第一項ノ地域ニ於テ本令ニ依リ應キ事項ニ關シテハ文部大臣ノ
定ムル所ニ依ル

第四十三條 市町村ハ其ノ負擔ヲ以テ國民學校ニ類スル各種學校
ヲ設置スルコトヲ得

市町村又ハ町村ハ其ノ協議ニ依リ市町村學校組合又ハ町村學校組合ヲ設ケ國民學校ニ類スル各種學校ヲ設置スルコトヲ得

第四十四條 前條ノ國民學校ニ類スル各種學校ノ設置及廢止ハ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

國民學校ニ類スル各種學校ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第四十五條 國民學校ニ非ザル學校ハ國民學校ト稱スルコトヲ得ズ但シ官立又ハ道府縣立ノ學校ニ於テ國民學校ノ課程ニ相當スル課程ヲ履修セシムル部分ニ關シテハ此ノ限ニ在ラズ

附 則

第四十六條 本令ハ昭和十六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ昭和十六年四月一日以前ニ出生シタル兒童ヲ就學セシムベキ期間ニ付

テハ第八條ノ規定ニ拘ラズ仍從前ノ例ニ依ル

第四十七條 市町村立小學校校長及教員義務及待遇、市制町村制ヲ施行セサル地方ノ小學教育規程及明治二十七年勅令第十一號ハ之ヲ廢止ス

第四十八條 本令施行ノ際現ニ存スル市町村立ノ尋常小學校、高等小學校及尋常高等小學校ハ夫々本令ニ依ル初等科ノミチテ置ク國民學校高等科ノミチテ置ク國民學校並ニ初等科及高等科ヲ置ク國民學校トス

第四十九條 本令施行ノ際現ニ存スル市町村立ノ高等小學校及尋常高等小學校高等科ノ第三學年ハ本令ニ依ル特修科トス

第五十條 尋常小學校ヲ卒業シタル者、高等小學校第一學年ヲ修

了シタル者及修業年限二箇年ノ高等小學校ヲ卒業シ又ハ修業年限三箇年ノ高等小學校第二學年ヲ修了シタル者ハ夫々之ヲ國民學校初等科ヲ修了シタル者、國民學校高等科第一學年ヲ修了シタル者及國民學校高等科ヲ修了シタル者ト看做ス

第五十一條 本令施行ノ際現ニ存スル小學校令第十四條第二項ノ規定又ハ其ノ準用規定ニ依リ設ケタル市町村學校組合及町村學校組合ハ之ヲ本令ニ依リ設ケタルモノト看做ス

第五十二條 本令施行ノ際現ニ存スル私立小學校ハ之ヲ私立學校令ニ依リ設立セラレタルモノト看做ス

本令施行ノ際現ニ學齡兒童ガ前項ノ學校ニシテ其ノ課程ニ付第十一條ノ規定ニ依ル認定ナキモノニ就學スルトキハ第八條ニ規

定スル保護者ノ義務ノ履行ニ關シテハ其ノ期間國民學校ニ就學スルモノト看做ス

第五十三條 本令施行ノ際現ニ存スル小學校ニ類スル各種學校ニシテ私人ノ費用ヲ以テ設置セルモノハ之ヲ私立學校令ニ依リ設立セラレタルモノト看做ス

第五十四條 本令施行前ニ授與シタル小學校教員免許狀ハ之ヲ第十八條第三項ノ規定ニ依リ授與シタル國民學校教員免許狀ト看做ス

第五十五條 本令施行ノ際現ニ委任官ノ待遇ヲ受クル市町村立小學校長ヲ兼ネシノラレタル市町村立小學校訓導ノ職ニ在ル者別ニ辭令ヲ受セラレザルトキハ國民學校訓導ニ同待遇俸給ヲ以テ

任ゼラレタルモノトス

本令施行ノ際現ニ市町村立小學校調導ノ職ニ在ル者（前項ノ規定ニ該當スル者ヲ除ク）別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ國民學校調導ニ同等給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス

本令施行ノ際現ニ兼任官ノ待遇ヲ受クル市町村立小學校長ヲ兼ネシノラレタル市町村立小學校調導ニシテ休職中ノモノ別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ休職ノ儘國民學校調導ニ同等待遇給ヲ以テ任ゼラレタルモノトシ當該休職ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル本令施行ノ際現ニ市町村立小學校調導ニシテ休職中ノモノ（前項ノ規定ニ該當スル者ヲ除ク）別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ休職ノ儘國民學校調導ニ同等給ヲ以テ任ゼラレタルモノトシ當

該休職ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第五十六條 本令施行ノ際現ニ小學校令第四十八條第一項ノ規定

ニ依リ減俸中ノ者又ハ同條第二項ノ規定ニ依リ業務停止中ノ者ノ當該減俸又ハ業務停止ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

本令施行前小學校令第四十八條ノ規定ニ依リ懲戒又ハ業務停止ノ處分ヲ爲スベカリシ行爲ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第五十七條 小學校令第五十條ノ規定ニ依ル免職若ハ業務停止又ハ免許狀攝奪ノ處分ニ對スル訴願ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第五十八條 町村制ヲ施行セザル地域ニ於テ本令施行ノ際現ニ學務委員ノ職ニ在ル者ハ之ヲ本令ニ依ル學務委員ト看做ス

校設置ノ義務ヲ免レシムルコトヲ得

第二十九條 國民學校ノ校數及位置ハ地方長官ニ於テ市町村、市町村學校組合又ハ町村學校組合ノ意見ヲ聞キ之ヲ定ムベシ

第六章 設備

第三十條 國民學校ニ於テハ校舍、校地、校具及體操場ヲ備フベシ

第三十一條 校舍、校地、校具及體操場ハ國民學校ノ目的以外ニ之ヲ使用スルコトヲ得ズ但シ非常變災ノ場合又ハ教育、兵事、産業、衛生、慈善等ノ目的ノ爲特別ノ必要アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十二條 國民學校ノ設備ニ關スル規程ハ文部大臣ニ於テ定ムル準則ニ基キ地方長官之ヲ定ム

第七章 經費負擔及授業料

第三十三條 國民學校ノ經費ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外市町村、市町村學校組合又ハ町村學校組合ノ負擔トス兒童教育事務委託ニ關スル經費ニ付亦同ジ

第三十四條 地方長官ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スト認ムルトキハ北海道地方費又ハ府縣ハ町村又ハ町村學校組合ニ相當ノ補助ヲ與フベシ

- 一 町村ニ付第二十五條第一項第一號ノ事情アルモ同項ノ規定ニ依ルコトヲ稱ザルトキ
- 二 町村學校組合ノ資力ガ國民學校ノ經費ノ負擔ニ堪ヘザルトキ又ハ市町村學校組合若ハ町村學校組合ノ一部タル町村ノ資